

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

王寺町創生まちづくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県北葛城郡王寺町

3 地域再生計画の区域

奈良県北葛城郡王寺町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1995年に最も多い24,574人に達して以降、2010年まで減少が続いていたが、2015年には宅地の開発等により23,025人まで増加した。2019年発表の国立社会保障・人口問題研究所の推計2018によると、2020年まで人口が増加するものの、その後は減少を続け、2045年には17,353人（人口ピークである1995年から約30%減少）になる見込みである。

生産年齢人口（15～64歳）は総人口と同じく1995年の17,584人をピークに減少に転じ、現在も減少が続いている。

年少人口（0～14歳）は1990年代前半まではほぼ横ばいで維持されていたが、長期的には減少傾向が続き、2000年には、老年人口を下回った。

一方、老年人口（65歳以上）は、生産年齢人口が順次老年期に移っており、また、平均寿命が延びたことから一貫して増加を続けているが、2020年をピークに緩やかな減少傾向に移行すると推計されている。2045年には本町の総人口の約34%が65歳以上となり、生産年齢人口の約1.58人で1人の高齢者を支えることになる。

このような状況認識のもと、「住民に開かれ自立するまちづくり」「快適で暮らしやすいまちづくり」「安全で安心して暮らせるまちづくり」「健やかに暮らせるまちづくり」「人を育みみんなが学べるまちづくり」「活力とにぎわいのあるまちづくり」という6つのまちづくりに関する基本目標を通じて、人口の自然増・

社会増につなげる。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	月に一回以上地域活動に 参加する人の割合	24.9%	29.0%	基本目標 1
イ	人口の社会増 (転入者数-転出者数)	+135人	+延べ100人 (累計)	基本目標 2 基本目標 6
ウ	防災訓練を実施している 自主防災組織の数	8団体	53団体	基本目標 3
	防災士資格者数	103人	130人	
エ	健康寿命の県内市町村に おける順位 (男性・女性)	5位・28位	1位・1位	基本目標 4
オ	合計特殊出生率	1.72	1.80	基本目標 5
カ	王寺町での新規起業件数	7件	20件(累計)	基本目標 6
	町の観光入込客数	11,184人	46,000人	
	王寺町周辺宿泊者数	18,998人	162,000人	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

王寺町創生まちづくり事業

- ア 住民に開かれ自立するまちづくり事業
- イ 快適で暮らしやすいまちづくり事業
- ウ 安全で安心して暮らせるまちづくり事業

- エ 健やかに暮らせるまちづくり事業
- オ 人を育みみんなが学べるまちづくり事業
- カ 活力とにぎわいのあるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 住民に開かれ自立するまちづくり事業

住民参画の機会の充実、協働意識の確立(まちづくり基本条例の制定)、住民活動推進の支援、地域を運営する新たな仕組みづくり(地域自治協議会)、まちづくりの担い手となる人材の育成・確保、自治会等の活性化の促進、コミュニティ施設への支援(地域の居場所づくり)など協働参画の仕組みづくりを推進する事業。各世代に対応した様々な情報媒体の活用、SNSの有効活用、シティプロモーションの推進、広聴の工夫・充実、情報管理の強化、オープンデータによる情報提供など時代に即した情報提供とその共有体制を充実させる事業。

「人権学習懇談会」「人権フェスタ」「差別をなくす町民集会」の開催、学校での人権教育、職員を対象とした人権研修会の開催、人権相談窓口の定期的な開設など人権に対する意識の高揚を図る事業。男女共同参画の実現に向けた町の指針となる計画の策定、男性の育児参加の推進、審議会等における女性の登用の促進、誰もが働きやすい環境づくり、女性の就業・起業支援(ハローワークや国と連携したセミナーの開催)、主体的な人材の発掘・育成と組織づくり(王寺ミラクル100事業)など、男女共同参画を進める事業。

I C Tを活用した事務処理の効率化・省力化、情報セキュリティの強化対策、マイナンバーカードの普及促進、行政手続きのオンライン化、A I(人工知能)技術の活用検討、外国人に対する行政サービスの充実、自主財源の確保、計画的な財政運営、「公共施設等総合管理計画」の不断の見直し、総合計画の進捗管理、行財政改革の推進、職員の育成、組織体制の見直しなど行財政改革の着実な推進、職員の資質向上、「選択と集中」による行財政の仕組みの転換や、「奈良モデル」の推進、公共施設の相互利用の研究、聖徳太子ゆかりの地としての連携推進、休日夜間の救急医療体制の確保、行政課題に応じた連携協力、大学・高等学校

や金融機関との連携など、効率的かつ効果的な行政運営を行う事業。

イ 快適で暮らしやすいまちづくり事業

王寺駅周辺の土地利用・高度利用の推進、畠田駅周辺地区の整備、歴史自然環境の保全、安全で良質な住宅ストックの形成、中古住宅の流通促進、老朽空家除却補助など「王寺町空家等対策計画」に基づいた取組、公営住宅の維持・活用、水道広域化の検討、水道料金の見直し、水洗化率向上のための啓発活動、下水道施設の計画的な維持管理・更新、下水道供用開始区域の拡大、下水道使用料の見直しなど、王寺駅周辺に医療・福祉、商業、事業所（オフィス）等の都市機能を集積し、ゆとりある良好な居住地域の環境維持と生活サービス機能の充実を図る事業。

国道 25 号の道路改良整備、国道 168 号の道路改良整備、県道天理王寺線他整備促進、畠田駅前の道路環境整備、「久度地区道路整備計画」の策定、町道の維持管理、橋梁の適切な維持管理、新たなバス路線の整備（畠田駅）、関西国際空港からの直通バス路線の開設、施設のバリアフリー化など鉄道利用者の安全性・利便性の向上、サイン表示の多言語化など外国人観光客の円滑な移動に向けた環境整備、自動運転など将来型の公共交通の研究・推進など住民の利便性向上と面的な広域ネットワークを整備する事業。

美化活動の推進、環境教育の推進、路上喫煙の防止対策、持続可能な「し尿処理施設」の運営、火葬施設の計画的な改修、災害廃棄物の処理計画の策定、鳥獣等被害の防止、廃プラスチック類の削減とリサイクル、「ごみ減量化モデル地区事業」の推進、リサイクルの推進、リサイクル促進に向けての再生資源集団回収助成金の交付、リサイクル率向上とごみの減量化に向けた研究、循環型社会形成に向けてのごみ焼却施設の整備・運営、電気自動車の普及啓発、公共施設における再生可能エネルギー利用促進など、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減に向け、再生可能エネルギーの有効活用や省エネ化、資源循環型社会の構築に取り組む事業。

自然環境の保全と利用、植栽など大和川・葛下川沿いの景観形成、協働による「水と緑のグリーンベルト」の維持管理、奈良県との「まちづ

くりに関する連携協定(王寺駅周辺整備)」の具体化、景観条例の制定など、大和川や葛下川、明神山や片岡山などの自然環境や景観への配慮を行うとともに、市街地の緑化、河川の清掃や整備により、快適な生活環境を向上させる事業。

ウ 安全で安心して暮らせるまちづくり事業

「自分の命は自分で守る」意識の醸成、自主防災組織への支援、実効性のある防災訓練の実施、避難所機能の強化、防災情報等の伝達手段の充実、防災拠点施設の充実、災害時支援受入体制の構築、効果的な災害協定の締結、大和川流域の総合治水対策、危険なブロック塀の撤去、平常時における要支援者名簿の提供と活用に向けた働きかけ、「個別計画」の策定支援など災害時に円滑かつ確実に避難できる体制づくり、要支援者を避難誘導する支援者の確保、帰宅困難者への支援、災害ボランティアなど受入体制の整備、奈良県広域消防組合と王寺町消防団の連携強化、消防団員の確保、自治会や各種団体への火災予防や救急救命に関する啓発活動に対する支援、女性消防団員による高齢者宅防火訪問、「やわらぎキット」の普及啓発・更新、救急車の適正利用等啓発など地域における防災・減災、消防・救急体制の充実に取り組む事業。

地域防犯活動の促進、防犯カメラの設置、消費生活トラブルの未然防止、高齢者に関する交通安全対策、「ゾーン30」の導入地区の検討、交通安全施設の適切な管理など地域や関係機関と連携し、防犯対策や交通安全対策等に取り組む事業。

エ 健やかに暮らせるまちづくり事業

高齢者の健康づくり、高齢者の知識や技能の活用、外出に対する支援、高齢者を支えるためのネットワークづくり、高齢者見守りネットワークの整備、高齢者の居場所づくり、認知症に関する相談・治療に結びつける連携体制の充実、認知症サポーターの養成、認知症の人の居場所が分かる探知機提供など家族への支援、買い物困難者への対策、「サービス付き高齢者向け住宅」等施設の整備、医療と介護の連携促進、地域包括ケアシステムの強化、特別養護老人ホームを拠点とした安心拠点の構築、切れ目のないリハビリテーション体制の推進、介護付有料老人ホーム等

施設の誘致、「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施など、地域生活支援拠点の整備地域支援体制の充実、高齢者の社会参加の促進や自らの生きがいをづくり、介護予防、介護施設や介護サービス、相談機能を充実する事業。

障害者が活躍できる環境・仕組みづくり、障害者雇用の支援や活躍の場の提供、手話奉仕員の拡大や補助犬支援など障害者のコミュニケーション支援の充実、障害を正しく理解するための啓発・広報活動の推進、交流・ふれあいの促進、権利擁護の促進、早期療育と障害児福祉サービスの推進、障害福祉サービス等の充実、地域生活への移行支援、福祉活動の担い手の確保、障害のある人のスポーツ・文化芸術活動への支援など、ノーマライゼーションの理念のもと、障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう、社会参加の促進を図る事業。

歩く健康づくりの推進、各種がん検診及び特定健康診査受診率の向上、出前健康チェックの実施、「健康づくりポイント制度」の創設、喫煙を防ぐための取組、健康づくりボランティアなど住民活動の推進、やわらぎ体操の啓発・普及など、地域における健康づくりや保健活動の充実を図る事業。

サロン活動やこども食堂など居場所づくりの推進、ボランティア活動の推進、次世代の地域福祉の担い手づくり、身近な地域での助け合い、支え合いの促進、王寺町社会福祉協議会の体制強化、「第2期王寺町国民健康保険データヘルス計画」に基づく保健事業の実施、ジェネリック医薬品への切替促進、「重複受診」の抑制など「医療費通知」の送付、国民健康保険税率の統一化、国民健康保険税の納税に関する啓発など、地域住民の相互理解と相互扶助の精神を基本とする地域福祉の基盤づくりを行う事業。

オ 人を育みみんなが学べるまちづくり事業

需要に対応するための保育受入れ体制の整備、「奈良県西和医療センター」における病児保育の充実、学童保育の充実、在園する第2子目以降の保育料減免、子育て支援体制の充実、「すくすく子育て支援センター（王寺町版ネウボラ）」の充実、「すくすく広場」の充実（地域子育て

て支援拠点事業)、児童虐待防止対策、ICTを活用した情報発信、「第4次王寺町母子保健計画」における支援事業の展開、乳幼児健診の受診勧奨、規則正しい生活習慣づくり、任意接種費用への助成、父親の育児参加の支援、一般不妊治療費用への助成、多胎妊婦健診費用の助成など、総合的な子育て支援を行い、福祉・保健・教育など、各サービスの充実を図ることにより、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する事業。

町立幼稚園での人格形成の基礎を培うことのできる特色かつ魅力ある取組の推進・預かり保育事業の充実・給食の検討・英語教育によるコミュニケーション能力等の育成、「ブックスタート」等の家庭教育の支援、幼小の円滑な接続の推進、町立幼稚園の統廃合の検討、「王寺町教育振興ビジョン」の見直し、小中一貫教育(義務教育学校)の推進、国際化に対応した英語教育、電子黒板・タブレット等ICT教育の推進、AIの活用研究と児童生徒の「プログラミング的思考」の育成、「王寺町寺子屋塾(雪丸サポートスクール)」の充実、いじめの未然防止・早期発見・再発防止、地域の歴史を学ぶ～郷土愛の醸成～、まちづくりへの関心を高める機会の創出、学校や地域との連携による環境教育の推進、教育機関(幼保小中高大)の連携強化、「チーム学校」の実現、特別支援教育の推進、読書活動の推進、新給食共同調理場の整備、部活動における外部指導員の活用など、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく健やかな体」「王寺を誇る心」を育むとともに、「地域とのふれあい」を推進し、学校教育環境の充実を図る事業。

地域のリーダー養成と様々な生涯学習機会の提供、より幅広い世代の参加による「王寺町文化祭」の実施、図書館の利用促進、公民館等の設備更新、指定管理者制度等の導入による施設の効果的な運営、生涯学習施策に関する基本計画の策定、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の検討、家庭教育学級の支援、自然体験活動の実施、菩提キャンプ場のリニューアル、菩提キャンプ場を利用した青少年野外体験活動の促進、青少年リーダーの確保、地域行事への子どもたちの参加促進、地域ぐるみ児童生徒健全育成推進協議会の活動強化、「あいさつ+1(プ

ラスわん) 」運動の推進、青色防犯パトロールの強化など、生涯学習環境の充実のための拠点施設の整備、地域教育力の向上、学んだことを地域に還元する機会の提供、地域全体として青少年の健全育成を図る事業。

「王寺町文化財保存活用地域計画」の着実な推進、「王寺町文化財保存活用地域計画」に基づくにぎわいづくり、ふるさと寄附金による文化財の保存・活用に対する支援、達磨寺方丈の歴史的空間を生かしたイベントの開催、西安寺跡発掘調査の公開と活用、片岡王寺跡の発掘調査・整備・活用、明神山からの歴史的眺望の活用、住民と一体となった文化財の保存・活用、文化財の継続調査と保存・展示施設の整備、多彩な町主催の文化事業の推進、奈良県主催事業への参加、大学との連携によるコンサート・展示会の開催、伝統文化体験事業の推進、誰もが発表できる機会の提供、障害者による文化・芸術活動への支援、文化芸術団体の運営支援、地域特性を生かした駅前での街角コンサートなどの開催、文化芸術施策に関する基本計画の策定など、王寺町の歴史・文化財の保護・継承や文化・芸術活動をさらに推進し、「ふるさとから学べる環境」を創出するなど、まちへの誇りや愛着心を高める事業。

「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の充実、ラジオ体操の推進、各種スポーツを推進する人材の確保、和マラソン大会の充実、気軽に参加できる町民体育大会の開催、トップアスリートを活用したスポーツ教室などの開催、新たなテニスコートの整備、効率的な体育施設の管理運営、大和川ジョギングコースの利活用、スポーツに関する基本計画の策定など、スポーツ・レクリエーションに親しむことができる環境を充実させる事業。

カ 活力とにぎわいのあるまちづくり事業

新たに店舗開業を目指す事業者の起業支援、観光振興による商業の活性化、王寺駅周辺のにぎわい創出、女性の多様な働き方の提案、国（ハローワーク）・県との連携による働きやすい環境づくり、「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導、効果的なリージョンプロモーションの推進、ライフステージに応じた移住・定住の促進など王寺町に住みたい、住み続けたいと思えるような魅力的で住みやすいまちを創出する

事業。

文化財等を観光資源として活用、広域観光ルートの形成、広域観光案内所の整備、広域連携による観光プロモーションの推進、首都圏PR活動等の推進、日本版DMOの組織づくり、宿泊、交通、飲食業等の事業者が連携できる環境づくり、イベントによる交流人口の拡大など、王寺町周辺の観光資源を含めた広域的な観光ルートの整備を図るとともに、歴史文化資源を有効に活用し、王寺駅を中心として、観光の振興、交流人口の拡大に努めるなど、活力の創出と交流の促進を図る事業

※ なお、詳細は第2期王寺町総合戦略のとおり

③ **事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

④ **寄附の金額の目安**

2,600,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度8月、産・官・学など多様な主体からなる総合計画審議会による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに王寺町公式サイト上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで